

開催日時：2003年8月6日（水） 16:00～19:10

場 所：axビル 4階 アクスネット Aルーム

参加者数：委員8名

1 決定事項

- ・ 本日の議論、これまでに文書で頂いた意見をもとに、部会長、部会長代理、田中リーダーで猪名川部会としてのとりまとめ素案を作成し、8/20頃に各委員に意見照会を行う。集まった意見をもとに可能な範囲で修正し、9/2の部会に提出する。

2 審議の概要

委員会および他部会の状況報告

資料1「委員会および各部会の状況（提言とりまとめ以降）」をもとに、委員会及び他部会の活動状況、7月22日（火）の猪名川流域現地視察の状況等について報告が行われた。

説明資料（第2稿）の検討について

資料2-1「猪名川部会とりまとめについて」をもとに、説明資料（第2稿）および具体的な整備内容シートについて意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

狭窄部（目標とする降雨規模の妥当性、決め方／浸水軽減策の考え方／開削を代替案とすることの是非）

- ・ 目標とする降雨について、既往最大といっても猪名川の場合は、他の狭窄部と比べて過大ではないか。他の狭窄部の水準に合わせる方が妥当なのでは。
- ・ 提言の考えを踏まえ、開削は最後の手段として考えるべき。

余野川ダム（環境に関する影響調査の方法、体制について等）

- ・ 狭窄部の浸水対策、一庫ダムの治水能力向上、余野川ダムについても、代替案の検討が十分ではない。
- ・ 資料2-1に記されている、「ダムについて別の委員会を設けて検討」を部会意見とする場合には、流域委員会との関係やメンバーも明確にしておくべき。

環境関連（猪名川の特性的反映／外来種対策／水質／高水敷きの切り下げ等）

- ・ 猪名川の特異性（開発が進んでいて保全すべき自然環境が残っていない、帰化率が高い、河川敷の利用率が高い）を踏まえた記述があるべき。

利用関連（グランド縮小の方向等）

治水関連（水田等の貯留能力維持／土地利用規制、誘導による対応等）

- ・ 水田の貯留能力の維持を言うのは良いが、その効果（大洪水には対応できないこと）も記述しておくべき。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。